

令和 8 年度経営目標にかかる委員意見

	法人名	委員意見	部局・法人回答
5 月 21 日	大阪外環状鉄道 (株)	様式2 「検査・工事の不備による事故防止」の成果測定指標名について 本指標は検査・工事の不備による事故件数ゼロをめざすものであり、内容を正確に表す観点から、「検査・工事の不備による事故件数」などを指標名とする方が適切ではないか。	本指標は事故を未然に防ぐという考え方に基づいたものであるが、より適切な表現となるよう修正する。(別紙1のとおり)

	法人名	委員意見	部局・法人回答											
5 月 28 日	(株)大阪鶴見フ ラワーセンター	<p>様式2「市場機能の向上のための施設整備」の指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設改修計画に基づき施設整備を実施していく指標について、ウエイトを15点とすることは妥当か。「当期経常利益」なども含め、改めてウエイトの配分を検討いただきたい。 令和8年度目標の経営評価にあたり、審議会において、目標の達成を何をもって判断するのかを資料に追記いただきたい。 	<p>様式2「市場機能の向上のための施設整備」の指標について (「ウエイト」や「R8 目標設定の考え方」等に下記の概要を追記。別紙2のとおり。)</p> <p>【ウエイト】</p> <p>○当法人は、花き消費減少、物流課題、交流施設の閉館といった事業環境の変化に対応し、生産地と買受人に選ばれる市場として生き残りをかけた取組みを進めている。本指標の施設整備については、下記のとおり3階部分を市場として整備し、取扱量の増加をめざすもので、令和11年度以降の黒字化に向けた極めて重要な設備投資である。</p> <table border="1" data-bbox="958 544 2011 807"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設改修計画</th> <th>施設整備のねらい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R8年度</td> <td>①3階のフラット化工事の完了 ②1階市場部分と3階を繋ぐ垂直搬送設備の設置</td> <td> <p>■他市場との連携による取扱量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 他市場との連携は、当市場を集荷力の高い魅力的な市場とし、他市場の買受人が当市場で花きを購入することにもつながる。 市場エリアを拡充し、連携強化による取扱量の増加に対応する。 </td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>R10工事にに向けた区割再編工事の完了</td> <td rowspan="2"> <p>■花きの単価・取扱量の増加</p> <p>猛暑や2024年問題による物流の長時間化が、花きの品質保持に影響を与え、単価と取扱量の減少につながっている。温度管理が可能な倉庫を整備することで、こうした課題の解消をめざす。</p> </td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>定温保管倉庫の整備完了</td> </tr> </tbody> </table> <p>○上記のような施設整備の価値、また、市場として24時間稼働している中、花きの流通を維持しながら工事を施工しなければならない困難な取組みでもあることを踏まえ、ウエイトについては15点を維持したいと考えている。</p> <p>○また、「当期経常利益」の指標については、当法人がおかれている厳しい状況を踏まえ、ウエイトを35点から40点に変更する。これに伴い、最重点目標以外の指標については、法人自らの努力で達成をめざす指標は15点、場内事業者との連携により取り組む指標については10点として整理し、「消費拡大のためのイベント、ワークショップ等の開催、支援」の指標を15点から10点に変更する。</p> <p>【令和8年度の目標にかかる達成の判断基準】</p> <p>○施設改修計画では、令和8年度は上記①②の工事を令和9年3月までに完了することとしており、工事を完了できたかが判断基準となるものと考えている。工事の完了にあたっては、それが証される書面を提示したい。</p>		施設改修計画	施設整備のねらい	R8年度	①3階のフラット化工事の完了 ②1階市場部分と3階を繋ぐ垂直搬送設備の設置	<p>■他市場との連携による取扱量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 他市場との連携は、当市場を集荷力の高い魅力的な市場とし、他市場の買受人が当市場で花きを購入することにもつながる。 市場エリアを拡充し、連携強化による取扱量の増加に対応する。 	R9	R10工事にに向けた区割再編工事の完了	<p>■花きの単価・取扱量の増加</p> <p>猛暑や2024年問題による物流の長時間化が、花きの品質保持に影響を与え、単価と取扱量の減少につながっている。温度管理が可能な倉庫を整備することで、こうした課題の解消をめざす。</p>	R10	定温保管倉庫の整備完了
	施設改修計画	施設整備のねらい												
R8年度	①3階のフラット化工事の完了 ②1階市場部分と3階を繋ぐ垂直搬送設備の設置	<p>■他市場との連携による取扱量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 他市場との連携は、当市場を集荷力の高い魅力的な市場とし、他市場の買受人が当市場で花きを購入することにもつながる。 市場エリアを拡充し、連携強化による取扱量の増加に対応する。 												
R9	R10工事にに向けた区割再編工事の完了	<p>■花きの単価・取扱量の増加</p> <p>猛暑や2024年問題による物流の長時間化が、花きの品質保持に影響を与え、単価と取扱量の減少につながっている。温度管理が可能な倉庫を整備することで、こうした課題の解消をめざす。</p>												
R10	定温保管倉庫の整備完了													

	法人名	委員意見	部局・法人回答
5 月 28 日	(株)大阪鶴見フ ラワーセンター	<p>様式2「廃棄物の再資源化率」の指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本指標は環境面の取組みのように思われるが、経営目標の区分のうち「健全性・採算性（財務）、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上（効率性）」にかかる指標とされている。当該区分に掲げている理由をお示しいただきたい。 	<p>様式2「廃棄物の再資源化率」の指標について （「R8 目標設定の考え方」に下記の内容を追記。別紙2のとおり。）</p> <p>○本指標については、企業として環境に配慮した取組みを行うことはもとより、廃棄物総量に占める一般廃棄物の割合を低下させることが廃棄物処理費用の抑制（財務の健全性）につながることから、「健全性・採算性（財務）、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上（効率性）」にかかる指標として設定している。</p>